

所管事務の調査（報告）

- ・ 令和4年度 川崎市下水道事業会計決算の概況について
- ・ 令和4年度 川崎市水道事業会計決算の概況について
- ・ 令和4年度 川崎市工業用水道事業会計決算の概況について

上 下 水 道 局

I 下水道事業会計

1 令和4年度 下水道事業会計決算概況

(1) 総括事項

下水道は、市民の快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除等のために欠くことのできない都市の基幹施設であり、令和4年度も引き続き、本市の重要施策の一つとして、事業に取り組んでまいりました。

事業面では、「川崎市上下水道ビジョン」、「川崎市上下水道事業中期計画」に基づき、令和元年東日本台風を踏まえた浸水への対策や大規模地震発生時においても下水道機能を損なわないための地震対策等、下水道が抱える課題を解決するための様々な取組を確実に進めてまいりました。

一方、財政面では、燃料価格の高騰等により電気料金が増大したものの、下水道経営の健全化を図るため、引き続き事業運営の効率化に努めてきたこと等により、当年度純利益を計上することができましたが、単年度資金については、資金不足額が生じました。なお、過去の建設投資の影響により、未だ企業債残高は高い水準にあり、依然として厳しい財政状況にあります。

今後も、下水道施設の更新等に伴う建設改良費が必要となりますので、これまでの累積資金の活用等で対応してまいります。

(業務の状況)

令和4年度末における処理面積は1万721ha、処理人口は153万4,852人で、人口普及率は99.5%に達しています。

また、有収水量は1億5,163万7,201m³で、下水道使用料収入は税抜きで216億8,283万9,258円です。

(建設及び改良工事)

令和4年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、216億4,964万8,302円となっております。

また、146億4,699万3,600円を令和5年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、管きょについては、浸水リスクの高い三沢川地区等で浸水被害軽減に向けた浸水対策工事を施行したほか、令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた対策工事を施行しました。また、大規模地震発生時にも、下水道機能を損なうことのないように、重要な管きょのうち、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ管きょの地震対策工事を施行しました。

ポンプ場については、老朽化の進む大師河原ポンプ場の再構築に向けた建設工事を施行したほか、各ポンプ場で老朽化した設備の更新工事を施行しました。

水処理センターについては、等々力水処理センターで高度処理化に向けた建設工事を施行したほか、各水処理センターで老朽化した設備の更新工事を施行しました。

2 令和4年度 下水道事業会計決算総括表

(1) 予算執行状況 ア 収入(税込額)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益の収入	45,462,527,000	44,009,958,361	△ 1,452,568,639	96.8%
資本的収入	48,639,286,000	32,934,905,850	△ 15,704,380,150	67.7%
合計	94,101,813,000	76,944,864,211	△ 17,156,948,789	81.8%

イ 支出(税込額)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益の支出	43,150,303,000	40,714,044,316	△ 2,436,258,684	94.4%
資本的支出	70,635,200,000	54,859,005,696	△ 15,776,194,304	77.7%
合計	113,785,503,000	95,573,050,012	△ 18,212,452,988	84.0%

(2) 収益の収支・資本的収支 ア 収益の収支(税込額)

区分	収入	支出	収支差引
収益の収支	44,009,958,361	40,714,044,316	3,295,914,045
収益の収支差額(税抜額) = 当年度純利益(△純損失)			2,068,000,879 円

イ 資本的収支(税込額)

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	32,934,905,850	54,859,005,696	△ 21,924,099,846

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 21,924,099,846円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,217,655,396円、減価積立金 3,302,506,563円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 17,403,937,887円で補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和4年度単年度資金過不足額

区分	金額	備考
当年度純利益(△純損失) (A)	2,068,000,879	<補填財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,217,655,396
資本的収支差額 (B)	△ 21,924,099,846	・当年度分損益勘定留保資金 16,348,730,104
補填財源等 (C)	17,552,632,968	減価償却費 23,335,285,029 固定資産除却費 270,441,600 長期前受金戻入 △ 7,317,221,627 その他非現金 60,225,102
単年度資金残額(△資金不足額) (A) + (B) + (C)	△ 2,303,465,999	・退職給付引当金増減額 △ 13,752,532

イ 累積資金過不足額

区分	令和3年度末資金残額	令和4年度単年度資金残額(△資金不足額)	令和4年度末資金残額※
資金残額	12,789,656,917	△ 2,303,465,999	10,486,190,918
うち退職給付引当金	1,999,454,965	△ 13,752,532	1,985,702,433

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和5年度以降の元金償還金に充てる予定である。

(4) 経営成績(税抜額)

科目	金額	科目	金額
営業費用	37,332,534,642	営業収益	33,207,787,398
営業外費用	2,317,285,439	営業外収益	7,929,704,846
特別損失	96,280,147	特別利益	676,608,863
総費用	39,746,100,228	総収益	41,814,101,107
当年度純利益	2,068,000,879	当年度純損失	-
前年度繰越利益剰余金	0	前年度繰越欠損金	-
その他未処分利益剰余金変動額	3,302,506,563		-
当年度未処分利益剰余金※	5,370,507,442	当年度未処理欠損金	-

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減価積立金分 3,302,506,563円は、令和5年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業会計	- (資金不足となっていない)	20%

3 業務の状況

項目 \ 年度	令和4年度	令和3年度	増△減(%)
総人口(人)	1,541,640	1,538,721	(0.2 %) 2,919
処理人口(人)	1,534,852	1,531,670	(0.2 %) 3,182
人口普及率(%)	99.5	99.5	(—) 0.0 P
処理面積(ha)	10,721	10,719	(0.0 %) 2
排水区域面積(ha)	10,721	10,719	(0.0 %) 2
水洗化対象件数(件)	764,292	755,260	(1.2 %) 9,032
水洗化件数(件)	762,063	752,987	(1.2 %) 9,076
水洗化助成件数(件)	24	21	(14.3 %) 3
年間処理水量(m ³)	199,360,408	203,575,943	(△ 2.1 %) △ 4,215,535
1日平均処理水量(m ³ /日)	546,193	557,742	(△ 2.1 %) △ 11,549
年間有収水量(m ³)	151,637,201	154,145,331	(△ 1.6 %) △ 2,508,130
管きょ布設延長(m)	3,158,220	3,153,671	(0.1 %) 4,549
下水道使用料(円) (税抜額)	21,682,839,258	21,884,054,095	(△ 0.9 %) △ 201,214,837

Ⅱ 水道事業会計

1 令和4年度 水道事業会計決算概況

(1) 総括事項

水道は、市民の快適な生活や産業活動の進展に欠くことのできない都市の基幹施設であることから、安全で良質な水の安定した供給に向けて取り組んでまいりました。

水需要については、家事用等の使用が減少となったため、水需要全体としては令和3年度と比べると減少となりました。

事業面では、「川崎市上下水道ビジョン」、「川崎市上下水道事業中期計画」に基づき、大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を進めるとともに、小・中学校等への開設不要型の応急給水拠点の整備等に取り組んでまいりました。

一方、財政面では、燃料価格の高騰等により電気料金が増大したものの、事業運営の効率化等により当年度純利益を計上しましたが、単年度資金については、管路の更新、耐震化が増加したこと等から資金不足額が生じました。

今後も、水道施設や管路の更新、耐震化等に伴う建設改良費が必要となりますので、これまでの累積資金の活用等で対応してまいります。

(業務の状況)

令和4年度末における給水人口は154万1,612人、給水栓数は90万4,556栓、普及率はほぼ100%です。

年間配水量は1億8,047万1,300m³、1日最大配水量は令和4年6月25日に記録した52万2,800m³です。

また、水道料金収入は税抜きで241億2,062万4,302円です。

(建設及び改良工事)

令和4年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、127億5,231万5,653円となっております。

また、51億9,941万9,761円を令和5年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、配水施設費については、大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を図るため、潮見台配水池流入出管等布設替に伴う2000mm－1100mm鋼管製作及び現場接合工事等を施行しました。令和4年度決算額は18億7,321万917円となっております。

耐震管路等整備事業費については、老朽化した管路の更新や耐震化を図るため、配水管布設替工事等を施行しました。令和4年度決算額は95億3,569万4,264円となっております。

2 令和4年度 水道事業会計決算総括表

(1) 予算執行状況

ア 収入（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	35,665,798,000	34,399,026,716	△ 1,266,771,284	96.4%
資本的収入	8,328,483,000	6,049,077,423	△ 2,279,405,577	72.6%
合計	43,994,281,000	40,448,104,139	△ 3,546,176,861	91.9%

イ 支出（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	34,096,974,000	32,190,413,989	△ 1,906,560,011	94.4%
資本的支出	22,849,512,619	16,320,013,350	△ 6,529,499,269	71.4%
合計	56,946,486,619	48,510,427,339	△ 8,436,059,280	85.2%

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	34,399,026,716	32,190,413,989	2,208,612,727

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益（△純損失） 1,097,664,044 円

イ 資本的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	6,049,077,423	16,320,013,350	△ 10,270,935,927

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 10,270,935,927円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,073,750,943円、減債積立金 1,842,484,506円及び過年度分損益勘定留保資金 7,354,700,478円を補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和4年度単年度資金過不足額

(単位 円)

区分	金額	備考
当年度純利益（△純損失） (A)	1,097,664,044	<補填財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,073,750,943 ・当年度分損益勘定留保資金 6,121,648,301 〔減価償却費 6,399,990,776 固定資産除却費 586,276,343 長期前受金戻入等 △ 864,618,818 ・退職給付引当金 △ 87,408,790
資本的収支差額 (B)	△ 10,270,935,927	
補填財源等 (C)	7,107,990,454	
単年度資金残額（△資金不足額） (A) + (B) + (C)	△ 2,065,281,429	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区分	令和3年度末 資金残額	令和4年度 単年度資金残額 （△資金不足額）	令和4年度末 資金残額※
資金	19,895,713,445	△ 2,065,281,429	17,830,432,016
うち退職給付引当金	4,693,030,130	△ 87,408,790	4,605,621,340

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和5年度以降の建設改良費と元金償還金に充てる予定である。

(4) 経営成績（税抜額）

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
営業費用	29,541,904,369	営業収益	28,276,261,056
営業外費用	823,892,210	営業外収益	3,180,975,511
特別損失	8,538,702	特別利益	14,762,758
総費用	30,374,335,281	総収益	31,471,999,325
当年度純利益	1,097,664,044	当年度純損失	-
前年度繰越利益剰余金	0	前年度繰越欠損金	-
その他未処分利益剰余金変動額	1,842,484,506	-	-
当年度未処分利益剰余金※	2,940,148,550	当年度未処理欠損金	-

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金分 1,842,484,506円は、令和5年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	- (資金不足となっていない)	20%

3 業務の状況

項目 \ 年度	令和4年度	令和3年度	増△減(%)
給水人口(人)	1,541,612	1,538,691	(0.2 %) 2,921
給水柱数(柱)	904,556	897,317	(0.8 %) 7,239
普及率(%)	99.99	99.99	(0.00 %) 0.00 P
年間配水量(m ³)	180,471,300	183,236,900	(△ 1.5 %) △ 2,765,600
1日最大配水量 (m ³ /日)	(6/25) 522,800	(7/10) 539,700	(△ 3.1 %) △ 16,900
1日平均配水量 (m ³ /日)	494,442	502,019	(△ 1.5 %) △ 7,577
年間有収水量(m ³)	168,744,740	171,656,064	(△ 1.7 %) △ 2,911,324
1日平均有収水量 (m ³ /日)	462,314	470,291	(△ 1.7 %) △ 7,977
有収率(%)	93.5	93.7	(—) △ 0.2 P
配水管の延長(m)	2,422,332	2,418,783	(0.1 %) 3,549
水道料金収入(円) (税抜額)	24,120,624,302	24,535,997,958	(△ 1.7 %) △ 415,373,656

Ⅲ 工業用水道事業会計

1 令和4年度工業用水道事業会計決算概況

(1) 総括事項

本市の工業用水道は、わが国初の公営工業用水道事業として昭和12年に給水を開始して以来、重化学工業を中心とした本市の産業経済の基幹施設としてその発展に寄与するとともに、活力と魅力あふれる力強い都市づくりを支える産業の振興に向けて、工業用水の安定供給に取り組んでまいりました。

水需要については、産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用等の影響を受け減少傾向にありましたが、近年はほぼ横ばいで推移しています。

事業面では、「川崎市上下水道ビジョン」、「川崎市上下水道事業中期計画」に基づき、老朽化した管路の更新等に取り組んでまいりました。

一方、財政面では、燃料価格の高騰等により電気料金が増大したものの、事業運営の効率化等により当年度純利益を計上し、単年度資金についても資金残額が生じました。

今後も、工業用水道施設の整備等に伴う建設改良費が必要となりますので、これまでの累積資金の活用等で対応してまいります。

(業務の状況)

令和4年度末における契約会社・工場数は57社77工場、1日当たりの契約水量は51万5,220m³、年間契約水量は1億8,805万5,300m³、年間使用水量は1億4,002万1,576m³です。

また、工業用水道料金収入は税抜きで68億7,615万7,945円です。

(建設及び改良工事)

令和4年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、9億7,015万5,580円となっております。

また、8億1,915万4,768円を令和5年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、浄水施設費については、将来の工業用水の安定供給に向けて、長沢浄水場第1沈でん池汚泥掻寄機及び排泥弁改良工事等を施行しました。令和4年度決算額は2億9,003万7,330円となっております。

その他の建設改良費については、稲田取水所取水口耐震補強及び制水門（下水門）更新工事等を施行しました。

2 令和4年度 工業用水道事業会計決算総括表

(1) 予算執行状況

ア 収入（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	7,884,457,000	7,761,402,211	△ 123,054,789	98.4%
資本的収入	911,651,000	276,023,842	△ 635,627,158	30.3%
合計	8,796,108,000	8,037,426,053	△ 758,681,947	91.4%

イ 支出（税込額）

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	7,675,911,000	7,092,211,790	△ 583,699,210	92.4%
資本的支出	2,732,607,250	1,609,903,850	△ 1,122,703,400	58.9%
合計	10,408,518,250	8,702,115,640	△ 1,706,402,610	83.6%

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	7,761,402,211	7,092,211,790	669,190,421

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益（△純損失） 582,994,478 円

イ 資本的収支（税込額）

(単位 円)

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	276,023,842	1,609,903,850	△ 1,333,880,008

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,333,880,008円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 82,890,378円、減債積立金 639,748,270円及び過年度分損益勘定留保資金 611,241,360円で補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和4年度単年度資金過不足額

(単位 円)

区分	金額	備考
当年度純利益（△純損失） (A)	582,994,478	<補填財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 82,890,378 ・当年度分損益勘定留保資金 1,033,947,401 〔減価償却費 1,115,666,771 固定資産除却費 32,030,248 長期前受金戻入等 △ 113,749,618〕 ・退職給付引当金 24,823,060
資本的収支差額 (B)	△ 1,333,880,008	
補填財源等 (C)	1,141,660,839	
単年度資金残額（△資金不足額） (A) + (B) + (C)	390,775,309	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区分	令和3年度末 資金残額	令和4年度 単年度資金残額 （△資金不足額）	令和4年度末 資金残額 ※
資金	9,703,980,654	390,775,309	10,094,755,963
うち退職給付引当金	568,581,380	24,823,060	593,404,440

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和5年度以降の建設改良費と元金償還金に充てる予定である。

(4) 経営成績（税抜額）

(単位 円)

科目	金額	科目	金額
営業費用	6,399,865,519	営業収益	6,896,354,653
営業外費用	88,005,184	営業外収益	174,510,528
特別損失	0	特別利益	0
総費用	6,487,870,703	総収益	7,070,865,181
当年度純利益	582,994,478	当年度純損失	-
前年度繰越利益剰余金	0	前年度繰越欠損金	-
その他未処分利益剰余金変動額	639,748,270	-	-
当年度未処分利益剰余金※	1,222,742,748	当年度未処理欠損金	-

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金分 639,748,270円は、令和5年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
工業用水道事業会計	- (資金不足となっていない)	20%

3 業務の状況

年度 項目	令和4年度	令和3年度	増△減(%)
年度末契約会社・工場数	57社77工場	58社78工場	(△ 1.7 %) △1社△1工場
年間契約水量(m ³)	188,055,300	188,146,550	(△ 0.0 %) △ 91,250
年度末1日当たり契約水量 (m ³ /日)	515,220	515,470	(△ 0.0 %) △ 250
年間使用水量(m ³)	140,021,576	144,338,787	(△ 3.0 %) △ 4,317,211
年間配水量(m ³)	141,496,400	145,536,400	(△ 2.8 %) △ 4,040,000
1日最大配水量 (m ³ /日)	(8/2) 435,700	(8/31) 434,900	(0.2 %) 800
調定水量(m ³)	189,521,070	189,932,031	(△ 0.2 %) △ 410,961
年間超過水量(m ³)	1,465,770	1,785,481	(△ 17.9 %) △ 319,711
配水管の延長(m)	43,420	43,412	(0.0 %) 8
水道料金収入(円) (税抜額)	6,876,157,945	6,907,769,664	(△ 0.5 %) △ 31,611,719

※調定水量(m³)は、年間契約水量(m³)と年間超過水量(m³)の合計である。